

一般社団法人くまもと禁煙推進フォーラム
令和3年度(2021年度)事業報告書
(第6期:令和3年5月31日～令和4年4月30日)

一般社団法人くまもと禁煙推進フォーラム代表理事
橋本洋一郎

I. 事業の総括

くまもと禁煙推進フォーラムは、平成28年の改組後、6期目の活動年度となる。

今年度の新規入会はなく、令和4年5月1日時点で、正会員37名、一般会員80名、学生会員1名、マスコミ会員4名、名誉会員7名の計129名が構成員となる。会員、正会員、理事会への連絡はメールリストを用いて行った。

2020年から新型コロナウイルス関連肺炎(後にCOVID-19と命名)が全世界に拡散し、その後も拡大と収束を繰り返した。その影響のため、会場を使った多くの講演会は中止とせざるを得なくなり、学校を含めた講演依頼は激減した。

そのような中でも、オンラインでの講演やセミナー、動画を用いた講演など、新しい活動様式の形成を模索し実施した。特にオンライン環境を利用し、2021年5月にはNPO法人山形県喫煙問題研究会と合同のオンライン講演会を実施した。さらに今後のオンライン講演のニーズにこたえるため、講演用動画の蓄積を行い、学校の講演において利用した。

当会の理事が取締役を務める会社(株式会社KDS)において喫煙者ゼロが達成された。当会はその実行へ向けた専門家としての助言を継続して行ってきた。KDSの実績は県内企業の取り組みを促し、協会けんぽ熊本の協力も得て、くまもと健康企業会の発足につながった。改正健康増進法の施行や国における健康経営優良法人の認証も、各企業のモチベーション向上につながっていると思われた。

10年以上にわたり、熊本保健科学大学と崇城大学に関わり、大学の禁煙化を後押ししてきた、熊本保健科学大学は2010年(平成22年)から、崇城大学は2020年(令和2年)に敷地内禁煙化された。学生の喫煙率も逡減しており、一定の成果が得られている。

今後も新型コロナ対策を考慮した対応が必要となることが予測される。禁煙に取り組む人が増え、受動喫煙問題が減少していくよう、工夫をしつつ活動していく予定である。

II. 組織の運営

1. 会員構成

令和3年5月1日時点での、会員構成は以下の通りである。

正会員(社員)37名、一般会員80名、学生会員1名、マスコミ会員4名
名誉会員7名、計129名

2. 理事会の開催

通常理事会を2回開催した。

①令和3年5月30日(日)Zoom オンライン会議

②令和4年3月27日(日)Zoom オンライン会議

Ⅲ. 事業内容

令和3年(2021年)度は定款に掲げる以下の事業をそれぞれ実施した。

(<http://square.umin.ac.jp/nosmoke/2021.html> にて公開予定)

1. 保健、医療、福祉、教育の領域における事業

事業の内容	実施日	場所	従事者数	受益者対象
NPO 法人山形県喫煙問題研究会・一般社団法人くまもと禁煙推進フォーラム [合同オンライン] 禁煙治療セミナー:改正健康増進法施行下での禁煙支援	2021/5/30	オンライン	10名	保健関係・一般(80名)
合同禁煙治療セミナー:改正健康増進法施行下での禁煙支援	2021/6/6	オンライン・再配信	1名	保健関係・一般(4名)
禁煙学抄読会#9	2021/6/20	オンライン	1名	保健関係・一般(7名)
禁煙学抄読会#10	2021/7/4	オンライン	1名	保健関係・一般(5名)
禁煙学抄読会#11	2021/8/22	オンライン	1名	保健関係・一般(5名)
禁煙学抄読会#12	2021/9/26	オンライン	1名	保健関係・一般(5名)
禁煙学抄読会#13	2021/11/14	オンライン	1名	保健関係・一般(4名)
禁煙学抄読会#14	2021/12/5	オンライン	1名	保健関係・一般(5名)
禁煙学抄読会#15	2022/1/16	オンライン	1名	保健関係・一般(5名)
第34回禁煙指導薬剤師育成研修会「禁煙指導に役立つ知識を学びましょう～最新の禁煙学を中心に～」	2022/2/21	オンライン	3名	保健関係(80名)
禁煙学抄読会#16	2022/2/27	オンライン	1名	保健関係・一般(5名)
禁煙学抄読会#17	2022/3/13	オンライン	1名	保健関係・一般(5名)

第 23 回くまもと禁煙治療セミナー:イチから学ぶ禁煙学 ～認定指導者を目指す方のために(前半)	2022/4/17	オンライン	1 名	保健関係・一般(55 名)
教育機関における防煙・禁煙教育	適宜	各学校・施設	10 名	28 教育機関 2382 名生徒
医療関係者向けへの講演	適宜	医療機関・各施設	10 名	25 回 490 名聴講
一般の方への講演	適宜	各施設	10 名	13 回 568 名聴講
メディアによる取材	適宜	—	3 名	5 回 メディア閲覧者

(補遺)講演記録の内訳と 2009 年度から 2021 年度までの累計数

対象	実施回数	参加人数	(累計) 実施回数	(累計) 参加人数	
教育機関	小学校	9	577	259	17,627
	中学校	8	997	191	32,752
	高校	2	287	90	22,350
	大学	4	365	79	11,128
	専門学校他	5	156	113	6,083
(教育機関合計)	28	2,382	732	89,940	
市民	13	568	258	17,749	
医療関係者	25	490	456	28,871	
(全体総合計)	66	3,440	1,446	136,560	

2. 広く社会への情報提供と啓発を図る事業

事業の内容	実施日	場所	従事者数	受益者対象
「禁煙資料館」における資料公開	終日	ウェブサイト	5 名	全国(無償利用)
喫煙防止(防煙)に関する授業受付	適宜	各学校・施設	3 名	県内教育機関
タバコに関する講演受付	適宜	医療機関・各施設	3 名	県内施設
受動喫煙の曝露の程度を測定する事業	適宜	各施設	1 名	県内施設
きれいな空気ロゴマークの利用	適宜	—	2 名	全国
すわんけん(イラスト、着ぐるみ)の利用	適宜	—	2 名	全国

3. 学術、研究及び人材育成に関する事業

(1) 事業の内容(論文発表)	従事者数	受益者対象
橋本洋一郎. 喫煙と脳卒中・循環器病—血栓症との戦い—. 日本禁煙学会雑誌 16: 43-47, 2021.	1名	雑誌読者
橋本洋一郎. 2022年医学はこうなる. medical tribune. pp1-8 新春企画	1名	雑誌読者
藤田貴子、馬場園明、姜鵬、Aziz Jamal、李雲飛. Cost-effectiveness analysis of treatment with varenicline for nicotine dependence compared with smoking cessation without pharmacotherapy in the real world. Pharmacoepidemiology and Drug Safety. 31(2):187-195, 2022.	1名	雑誌読者

(2) 事業の内容(学会発表)	従事者数	受益者対象
第15回日本禁煙学会学術総会 シンポジウム:喫煙と脳卒中	1名	日本禁煙学会 会員
第15回日本禁煙学会学術総会 発表:未成年者へのアルコールフラッシング反応を活用した防煙授業の効果	1名	日本禁煙学会 会員
第15回日本禁煙学会学術総会 ナース委員会企画～公開レッスン 禁煙支援の裏技～	1名	日本禁煙学会 会員
第15回日本禁煙学会学術総会 ワークショップ～禁煙遠隔診療の現状と課題～	1名	日本禁煙学会 会員
第15回日本禁煙学会学術総会 シンポジウムIV新型タバコの真実と禁煙活動の将来	1名	日本禁煙学会 会員
第62回日本呼吸器学会学術講演会 第19回呼吸ケアカンファレンス:今、看護師が取り組める禁煙支援(2022.4.24 http://care19.umin.jp/pdf/program.pdf)	1名	日本禁煙学会 会員

(3) 事業の内容(その他)	実施日	場所	従事者数	受益者対象
----------------	-----	----	------	-------

特記事項なし

4. 会員相互の交流、連絡、親睦を図る事業

事業の内容	実施日	場所	従事者数	受益者対象
メーリングリストによる情報提供と意見交換	終日	インターネット(クラウド)	3名	法人会員

5. 前各号に付帯する一切の業務

事業の内容	実施日	場所	従事者数	受益者対象
日本禁煙学会熊本県支部と共同活動	終日		10名	日本禁煙学会 会員

以上